

問1 源頼朝が、対立した実の弟を捕らえることを名目として、国ごとに守護、荘園や公領ごとに地頭を設置することを朝廷に認めさせた際、その捕縛の対象となった人物と、軍事や御家人の統制を担うために設置された組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

1. 源義経と侍所
2. 源義仲と問注所
3. 源義仲と侍所
4. 源義経と政所

問2 曹洞宗の開祖である道元は、場所を選ばず「ひたすら座禅をすることである」と説きました。このような鎌倉新仏教の特徴と、普及の背景について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

1. 伝統を重視し、奈良時代からの古い教義をさらに複雑化したことで支持を得た。
2. 生活の場や時間を問わずに行える修行法を提示し、民衆の生活に寄り添った。
3. 修行には膨大な費用と時間が必要であったため、富裕な商人の間でのみ流行した。
4. 祈祷によって病気を治すといった、貴族向けの現世利益のみを追求した。

問3 鎌倉時代に宋から伝えられた、座禅を組む修行によって自らの力で悟りを開こうとする仏教の宗派を何というか、次の中から名称を選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 日蓮宗
2. 浄土真宗
3. 浄土宗
4. 禅宗

問4 1185年、源頼朝は対立した弟の源義経を捕らえることを名目に、朝廷から守護と地頭を設置する権限を認めさせました。これら守護と地頭が配置された場所と役割の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 守護は朝廷のあった京都に置かれて貴族を監視し、地頭は東国の有力な御家人の領地にのみ限定して置かれた。
2. 守護は荘園ごとに置かれて裁判の役割を担い、地頭は国ごとに置かれて行政全般の管理を行った。
3. 守護は国ごとに置かれて軍事・警察の役割を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収などを行った。
4. 守護と地頭はともに九州沿岸に置かれ、外国からの侵略に備えるための軍事拠点としての役割を担った。

問5 東大寺南大門にある金剛力士像は、運慶や快慶らによって制作された。それまでの時代の優美で繊細な表現とは対照的に、この像のように力強く写実的な作風が生まれた背景として、最も適切な説明はどれか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)

1. 浄土信仰の普及により、極楽浄土の優雅な様子を視覚化する必要があったため
2. 唐の文化の影響を強く受け、理想化された静かな美しさが追求されたため。
3. 政治の実権を握った武士の、質実剛健で力強い気風が反映されたため。
4. 貴族を中心とした国風文化が円熟し、より複雑な感情表現が求められたため。

問6 12世紀末から14世紀前半にかけての日本の状況について述べた文として、時代背景が正しく説明されているものはどれか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 公家を中心とした政治から、土地の仲介などを通じて武士が実権を握る政権へと移行した。
2. 平城京を中心に、大陸の文化や仏教の影響を強く受けた貴族文化が栄えた。
3. 土農工商の身分制度が確立され、200年以上にわたる鎖国政策が実施された。
4. 鉄砲の伝来やキリスト教の布教により、戦国大名による全国統一の動きが加速した。

問7 鎌倉時代、東大寺南大門に安置された木造彫刻は、筋肉隆々で写実的な表現がなされており、当時の武士の気風を反映しているとされています。運慶や快慶らが制作した、この力強い彫刻の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 平等院鳳凰堂阿彌陀如来坐像
2. 弥勒菩薩半跏思惟像
3. 金剛力士像
4. 阿彌陀如来像

問8 鎌倉時代の武家社会を支えた「御恩」と「奉公」という制度について、その仕組みを説明した文として正しいものはどれですか。将軍と御家人の双方の関係性に注目して選びなさい。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 御家人が将軍に絶対的な忠誠を誓う儀式を行うことで、将軍から裁判における全面的な勝訴を約束される関係であった。
2. 将軍が御家人の子弟を教育する場を提供し、その見返りとして御家人が幕府の運営資金をすべて負担する仕組みであった。
3. 将軍が御家人の領地の支配を保証する代わりに、御家人は軍役などの義務を負うという、土地を介した契約関係であった。
4. 将軍がすべての土地を国有化し、御家人の能力に応じて毎年一定の俸禄を支給する給与体系であった。

問9 源頼朝が幕府を開いた鎌倉は、防御に適した地形を利用して都市が築かれました。三方を山に囲まれ、南が海に面したこの土地において、外部との交通路として山を切り開いて設けられた通路を何と呼びますか。 (2022年 山口県公立入試 類似)

1. 本陣
2. 関所
3. 切通し
4. 宿場

問10 鎌倉時代の歴史的出来事をまとめた資料において、後鳥羽上皇が隠岐へ流された直後に記述される、幕府による政治体制の変化として適切なものはどれか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)

1. 朝廷の監視や京都の警備を目的として、六波羅探題を設置した
2. 裁判の基準を明確にするため、御成敗式目を制定した
3. 御家人の生活を救うため、徳政令を出して借金を帳消しにした
4. 元軍の侵攻に備えるため、九州に鎮西探題を設置した

問11 一二三二年に制定された御成敗式目の目的や性質に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)

1. 鎌倉時代初期の源頼朝が、朝廷から征夷大將軍に任命されるための条件を明文化する。
2. 有力な家臣の合議制を廃止し、執権がすべての実権を握る独裁的な政治体制を確立する。
3. 地頭などの御家人による土地争いを公平に裁く基準を定め、幕府の統治を安定させる。
4. 北条時宗が二度の元寇に際し、九州の防備を固めるために武士の動員体制を法制化する。

問12 鎌倉時代後半、元寇の防衛に功績のあった御家人が生活に困窮し、幕府への不満を強めた経緯を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)

1. 幕府が全国の武士に土地を寄進するよう命じたため、自立した経営ができなくなった。
2. 元の軍隊が九州の大部分を占領し、御家人の所領が直接的に奪われた。
3. 御成敗式目によって土地の相続が厳しく制限され、家を維持することが困難になった。
4. 自費で軍役を果たしたが、恩賞としての領地が与えられなかったため、幕府との主従関係が揺らいだ。

問13 鎌倉時代、源平の争乱によって焼失した東大寺の再建において、僧侶の重源（ちようげん）らが入り入れた建築様式に関する説明として正しいものを選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)

1. 元（モンゴル）の建築技術を導入し、石造りの基盤の上に大規模な回廊を持つ形式で再建された。
2. 当時の中国の王朝である宋の様式を取り入れ、大仏様（だいぶつよう）と呼ばれる力強い構造で再建された。
3. 平安時代の貴族の住宅に見られる寝殿造の様式を寺院建築に応用し、池と調和する形で再建された。
4. 奈良時代の唐招提寺などに見られる唐の様式を忠実に再現し、対称性を重視した優美な姿で再建された。